

令和7年（2025年）9月30日

保護者の皆様

札幌市立丘珠小学校

校長 嶋本 剛

令和7年度 全国学力・学習状況調査の本校の結果について

清秋の候、保護者の皆様にもますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また日頃より丘珠小学校の教育活動に対しましてご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本年4月17日（木）に全国の小学6年生と中学3年生を対象にした「全国学力・学習状況調査」が行われました。「教科に関する調査結果」と「児童生徒質問紙調査結果」について、本校の6年生の状況をお知らせいたします。

今回の結果を分析・検証し、今後の学習・生活指導に生かしてまいります。なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることに十分ご留意ください。保護者の皆様におかれましても、お子さんのこれからの学習や生活の充実のための参考にしていただきたくお願い申し上げます。

【国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【話すこと・聞くこと】 全国平均を下回っている。	▲目的や意図に応じ、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。 ▲資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。	• 実際の話し合いの場面を具体的に想定し、目的や意図に応じて話す内容や質問を分類・関係付けながら、話し合いの進め方や考える学習活動の充実。
【書くこと】 全国平均を下回っている。	▲目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	• 目的や意図に応じて、自分の考え方が伝わりやすいように書いたり、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えたりする学習活動の充実。
【読むこと】 全国平均を下回っている。	▲目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けること。	• 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける学習活動の充実。
【言葉の特徴や使い方に関する事項】 全国平均を下回っている。	▲学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。	• 漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中での正しい使い方を習得できるようにする学習活動の充実。

【情報の扱い方に関する事項】 全校平均を下回っている。	▲情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。	・複雑な事柄を分類して捉えたり、多様な内容を要素ごとに分類したりする際に短い語句でまとめたり、図でまとめたりする学習活動の充実。
【我が国の言語文化に関する事項】 全国平均を下回っている。	▲時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと。	・時代の経過による言葉の変化など、文章を通して、気付かせるとともに言葉の使い方についても幅広く捉えられるような活動の充実。

【算数】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【数と計算】 全国平【均を下回っている。	▲異分母の分数の計算ができたり、小数同士の計算においてはもとにする数を考えたりできる。	・分数の加法及び減法の計算の仕方を分数の意味や大きさに着目して考える活動の充実。
【図形】 全国平均を下回っている。	▲五角形の面積の求めかたについて、必要な長さを調べて式や言葉で表現する。	・辺の長さや角の大きさなど、図形の構成の仕方について考察する活動の充実。
【測定】 全国平均を下回っている。	▲はかりの目盛りを読むこと。	・身の回りのものを、実際に測ったり、比べたりしながら単位を用いて表現する学習の充実。
【変化と関係】 全国平均を下回っている。	▲伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見出し、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述すること。	・伴って変わる二つの数量の関係から問題を解決する活動の充実。その後、二つの数量関係を表・式・言葉を用いて表現する活動の工夫。
【データの活用】 全国平均を下回っている。	▲目的に応じて適切なグラフを選択し、出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。	・グラフの読み取りと、グラフから読み取れることを言葉で表現する活動の充実。

【理科】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【「エネルギー」を柱とする領域】 全国平均を下回っている。	▲身の回りの電気を通す物と磁石に引き付けられる物との差異点や共通点について理解すること。	• 学習した知識を他の学習や生活と関係付け、より生きた学習となるような学習活動の工夫。
【「粒子」を柱とする領域】 全国平均を下回っている。	▲水の温まり方について、実験の結果から変化する水のすがたについて考察すること。	• 予想をたて実験を通して得た結果とそこから考えられることのサイクルを大切に学習活動の充実。
【「生命」を柱とする領域】 全国平均を下回っている。	▲発芽の条件について、差異点や共通点をもとに、新たな問題を見出し、表現すること。	• 比較実験を通して、一人一人が見出した具体的な方法や条件などをノートに書くなど思考・表現する活動の充実。
【「地球」を柱とする領域】 全国平均を下回っている。	▲赤玉土の粒の大きさによる水のしみこみ方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現すること。	• 問題を解決するために、実験方法について考えたり、実験の結果を自分の言葉でまとめたりする学習活動の工夫。

【児童質問紙調査結果について】



- ◇ 「学校は楽しい」「友人関係に満足している」「先生に認められる」等学校への満足度は、高い。
- ◇ 「人の役に立つ人間になりたい」「生活の中で幸せを感じる」「将来の夢や目標をもっている」「自分にはよいところがある」といった項目に対して肯定的な回答の割合が高く、しっかり将来を見据え、自己肯定感や自己有用感の高さが見られた。
- ◆ 「学校の授業時間以外に、普段一日当たりどれくらいの時間勉強しますか。」の項目では、**1時間未満**の児童が81.6%と8割以上を占めている。
- ◆ 「土日など学校が休みの日に、一日当たりどれくらいの時間勉強しますか。」の項目では、**1時間未満**の児童が76.3%と7割以上を占めている。



「全国学力学習状況調査」は、6年生が対象の調査ですが、上記の分析結果から見えてきた問題点を全校的な課題として捉え、改善に取り組んでいきます。ご家庭でも、ゲームの時間やルール、学習時間、学習方法等について振り返り、ぜひ話題に取り上げていただきますようお願いいたします。